

同推くん

No. 4 平成7年3月
海蔵同和教育推進協議会

平成6年度の活動を振り返って

◇地区懇談会

当初は、町別で懇談会を行うという計画でしたが、町別では困難であるという多くの委員の意見により、前年どおりブロック別に下記の日程で行いました。

7/21 西阿倉川 7/28 東阿倉川 8/10 野田・清水
8/20 三ッ谷 8/26 みゆき・松ヶ丘 8/27 末永・本郷

今年は、各ブロック共通テーマ「いろいろな差別の実態を知り、不合理な差別をなくそう」を設定して、映画も共通にして職場における差別を題材にした「辞表」（約40分）を鑑賞しました。その後は、今回初めて全会場で8～8人のグループに分かれて約35分という短時間で座談会をしていただきました。日頃あまり話題にならない差別について映画の感想やいろいろな考え方を話し合った後、山手中の同和教育担当の先生よりまとめの言葉をいただきました。参加人員は全体で315人でした。最後のアンケートには貴重なご意見をたくさんいただきましたので、そののひとつをお知らせします。

私達の班では、同和教育の地区懇談会をやること自体がムダなことではないかという結論が出たのですが、私はそうは思いません。親が子供に話をしなければ、それですむのではないかという人もいましたが、私が実際に聞いたのは就職先の年輩の方からです。やはり、このような場を作って、みんなで話し合った方が良いと思います。 (30代女性)

◇海蔵地区 人権・同和教育意識調査報告書

平成4年に実施いたしましたアンケートの結果は平成5年に22回の検討委員会を経て平成6年3月に意識調査報告書(50頁)としてまとめ、関係各機関に配布しました。そして、平成7年1月よりその内容を更に分かりやすく、一問一答形式にして解説し、毎月2回市広報と共に各家庭に配布しております。ぜひ、ご一読の上あたたかい心の通い合う家庭、町づくりの一助にいただければと思っております。

◇第3回人権を考える集い

1回目は障害者、2回目は部落差別を取り上げましたので、今回は、男女差別を取り上げてみました。10/7に海蔵小学校体育館で、四日市市女性課 課長坂倉加代子氏をお招きして、「高齢化社会における男女の役割」と題して約1時間の講演をしていただきました。女は強くなったと言われますが、まだまだ女が何かしようとする、男には分からないくやしい思いをすることがあります。それは男は仕事、女は家庭という決めつけです。個人が選んでいるのならいいが、現実には社会が決めていて生活に溶け込んでいます。高齢化により老人介護の期間が長くなり女だけでは難しいこともあります。介護は女がして当たり前という意識が、介護をする人にストレスを与え、十分な介護をできなくしています。女の人権も、老人の人権も守られる必要がありますというお話で、男性には少々耳が痛く、女性によく言ってくれたと感激した人がおかったのではないのでしょうか。その後は、約8人程のグループに分かれて「ブンブン会議」として自由に意見交換をしました。参加者は約130人でした。地区懇談会を終えて休む間もなく準備に協力していただきました保幼小中Pと婦人会の委員の皆さんありがとうございました。

◇地域交流

海蔵地区意識調査からも分かるように実際に被差別の立場にいる人たちと交流のある人は正しい理解をしていることが多く、また交流を求め真実を知りたいという意見もあったため、平成6年初め頃より神前同推協にお願いして、役員間で数回の準備会兼交流会をもち、平成7年1月27日海蔵同推協委員研修会に神前同推協より6名の役員に出席していただきました。まず山下副会長から差別の現実について約40分話していただいた後、3グループに分かれて座談会をしました。出席者は約30人とやや低調でしたが、現実には差別と直面している人々と膝を交えて話し合うことにより、一層深い理解をすることができました。このような交流会は今後も続けていく予定ですので、今回欠席された方は次回はぜひ出席していただきたく思います。また今回出席して感銘を受けた方は、次回は一人でも多くの友人知人をお誘い下さるようお願いいたします。

前号でお願いしました同推協だよりの愛称は、役員会で投票の結果 西阿倉川 溝脇さんの「同推くん」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。